



各 位

平成 17 年 11 月 11 日

会 社 名 伊藤ハム株式会社  
代表者名 取締役社長 伊藤 正視  
(コード番号 2284 東・大)  
問合せ先 財務担当取締役 藤山 俊行  
(TEL. 0798 - 66 - 1231)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 17 年 8 月 9 日の第 1 四半期決算発表時に公表した業績予想を下記のとおり修正します。

### 記

1. 18 年 3 月期個別中間業績予想数値の修正(平成 17 年 4 月 1 日～平成 17 年 9 月 30 日)

(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成 17 年 8 月 9 日発表)	220,000	1,100	1,100
今回修正予想(B)	214,160	660	1,235
増減額(B - A)	5,840	440	135
増減率	2.7	-	-
前期(平成 16 年 9 月中間期)実績	209,484	2,781	1,885

2. 18 年 3 月期連結中間業績予想数値の修正(平成 17 年 4 月 1 日～平成 17 年 9 月 30 日)

(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成 17 年 8 月 9 日発表)	260,000	0	1,500
今回修正予想(B)	258,700	8	1,395
増減額(B - A)	1,300	8	105
増減率	0.5	-	-
前期(平成 16 年 9 月中間期)実績	247,421	4,158	2,732

3. 修正の理由

当中間期の売上高は、前回見通しを下回りましたが、生肉の売上増や調理食品の拡販により前年中間期を上回りました。収益面では、連結の経常利益、当期純利益は前回予想と大きな変動はありません。一方、個別の経常利益は、原材料費が前回予想に比べて下回ったことに加え、販管費の改善により、前回見通しを 440 百万円上回りました。また、個別当期純利益は、子会社に対する貸倒引当金等の計上により特別損失が予想を上回ったことにより、当初予想を 135 百万円下回る見込となりました。

以上の理由から、中間期の業績予想を修正いたします。

なお、通期業績予想の変更はございません。

以上